

作業所日記

中江 聡

若葉萌える季節となりました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。今回は、通信でお会いするのが二回目となる中江が担当します。私が葦の会に入職して、一か月と少し経ちますが「作業の種類って、こんなに多いんだー!!」というのが、まず思った正直な感想です。内職ひとつをとっても、お菓子等の箱作り、サンプル品やシールの封入、お茶の袋入れ、海苔入れ etc…。また、それらは、いくつもの工程を経て、ひとつの完成品となります。これを手際良く連携を取りながら、納期に間に合わせるのですから、次の感想は当然「メンバーの皆さん、凄いなあ」です。クッキーを入れる箱の制作では、いくつもある台紙を蓋・下の箱・仕切りに分けて、それぞれ折り目をつけてから、組み立て、検品をします。それぞれのパーツの進行にも気をつけながら行わないと・・・「いつの間にか蓋ばかり」「仕切りが無い」「机の上、箱だらけ」となってしまいます。何度かそのような状況になりながらも、幸坂さんや花田さんのフォローで、無事に終わることが出来ました。周りの状況すべてに気を配ることや、自分自身が作業を行い「素早く・確実に」仕上げる事がいかに難しい事かを知りました。もちろん、メンバーの皆さんも得意なものばかりでは、ありません。初めて行う仕事やそれぞれ苦手な工程の時には、時間がかかったり間違えたりもしますが、それでも仕上げる数を重ねることで、それも少なくなっていくと思います。そういった順応性や集中力を私も見習いたいと思います。



さて、四月に入った新しいメンバーもそれぞれ作業所の生活に慣れてきたようです。入所当時は、休み時間等に三人でいることが多かったのですが、最近は徐々に他のメンバーとの関わりが増えていきます。同じ工程を一緒に行ったり、作業の流れの中で関わったりすることで、先輩メンバーに溶け込んでいきました。毎日、元気に朝礼で返事をする大塚さんは、気さくに周りのメンバーに声をかけています。作業では、ビニール袋に紙を入れる工程やチラシ折り等を行いました。集中するとペース良く行えていました。毎日にこやかな表情の斎藤さんは、紅茶の箱折りや冊子の紙入れを行いました。作業を行いながら、工程が間違っていないかの確認を自ら行ってくれます。とても丁寧に仕上げてくださいました。作業のスピードが速い荒木さんは、ビニール袋に5種類のガム入れる仕事を行いました。素早く確実に行っており、間違いを見つけると自ら訂正をしてくれました。これから三人は、まだ見ぬ仕事に挑戦することになると思いますが、たくさんの経験を積んでもらいたいと思います。今後の活躍を期待しています。また、新人が入ることで、より大きく見えるのが、先輩達。四月もこれまでの仕事を引き続き行っています。自転車清掃では、村田さんが丁寧に綺麗に磨き上げてくれました。新たに注文をいただき、忙しくなってきた木箱作りでは、桑原さん、奥さん



がせっせと何箱も作ってくれました。数が多いチラシ折りは、秀島さんが短い時間でたくさん折ってくれました。そのチラシを宮島さんがすでに暑さを感じる気温の中、ポストイングをしてくれました。公園清掃では、青木さんが雑草を黙々と取ってくれました。配達では、私の運転に不安そうな表情を浮かべつつも花房さんが、同行してくれました。そんなメンバーの皆さんの姿、「かっこいい」ですね。まだまだ、未熟な私。やったことの無い作業がたくさんありますが、それらに携わる際には、メンバーの「かっこいい」姿を参考にしながら、私も精進していきたいと思います。